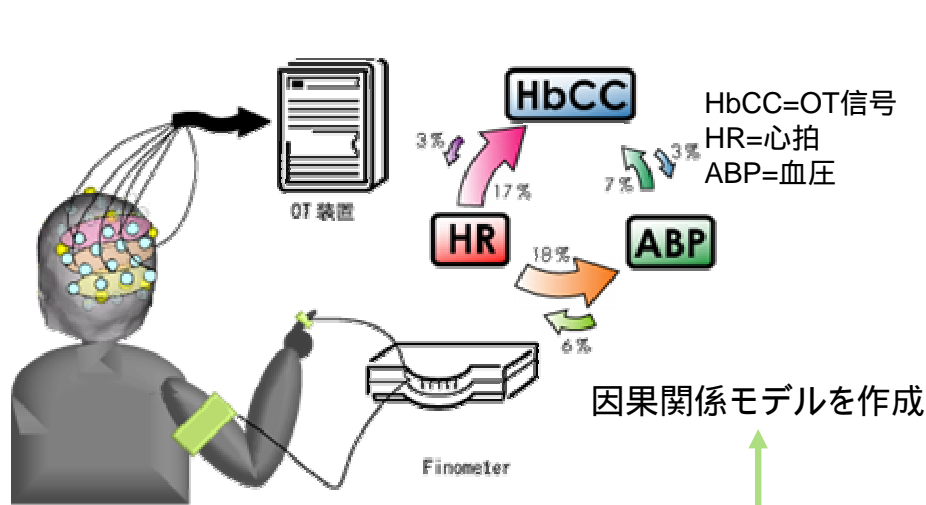
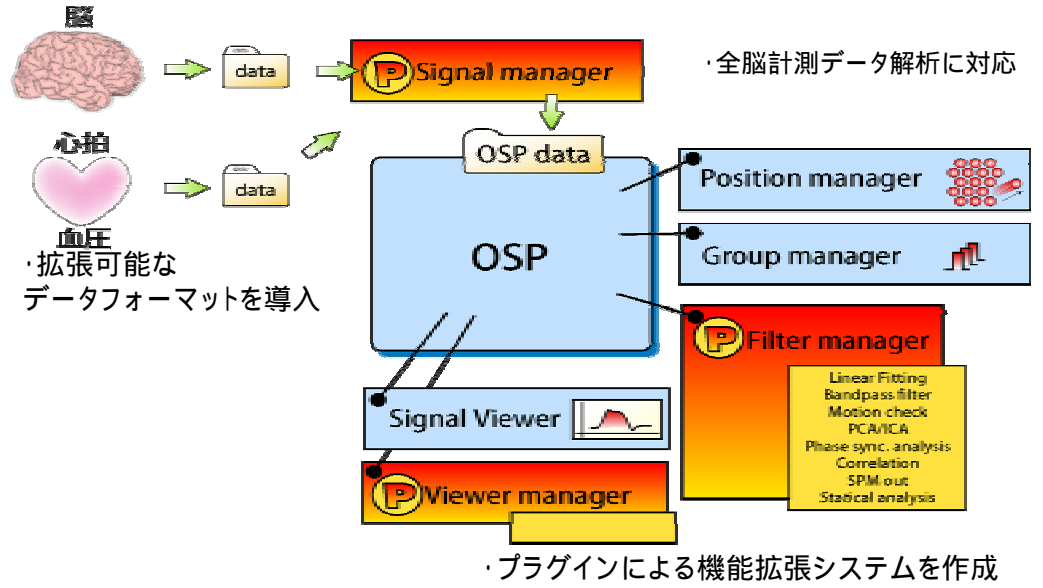


脳の定量的評価・解析技術に関する研究開発

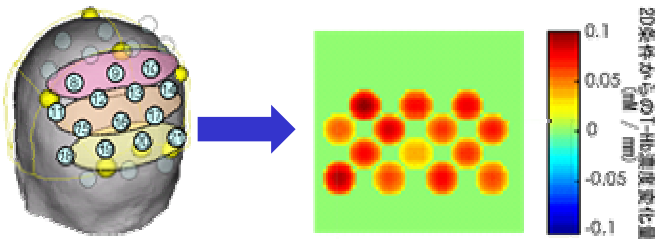
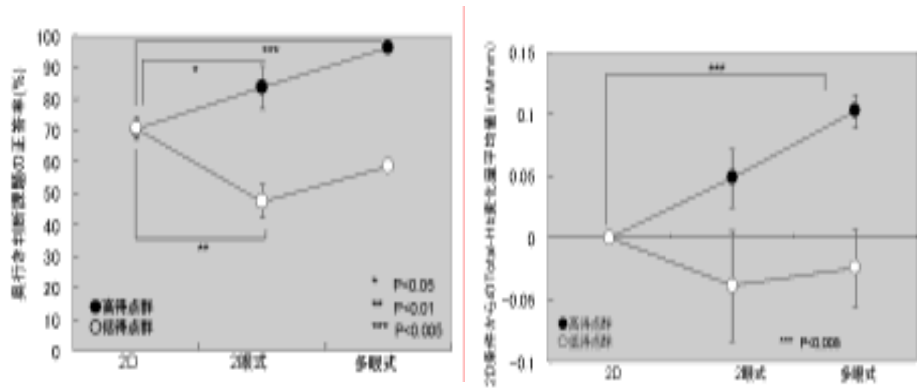
技術革新と情報の複雑化が進展する中で、映像などの影響に関して客観的に評価可能な生物学的指標の導入は不可欠である。本研究では、映像の脳へ与える影響を計測および解析するための方法論確立を目指し、光トポグラフィ計測・解析技術の開発を中心に推進した。



脳活動と自律神経生体信号の関係を評価
 脳活動に重畳する揺らぎの検出と低減・除去



自律神経モデルを考慮した脳活動の標準解析ツールの開発
 映像が脳活動へ与える影響の定量評価のため、異分野架橋融合を促進する有用な手段の提供



3Dディスプレイ映像呈示による脳活動の評価
 奥行き感知覚の個人差を定量化
 2D、3Dディスプレイで脳活動の違いを発見
 (3Dディスプレイでは奥行き感を知覚しやすいため、脳がより活性化)